

## 漢字表記の基準

—本誌における漢字表記—

「国民文学」本誌における「漢字表記」の基準を、編集会議において次のとおり決定しております。作品の表記および文章の表記は、この基準に添って行なってください。

漢字の略字が世上に多く見られるなか、本誌は略字の安易な使用をつつし、「漢字の正字表記」を基本方針とします。

「新常用漢字表」（二一三六字）が、平成二二年一月三〇日、内閣告示されました。

その常用漢字のうち、パソコンや電子辞書などの機器で表示不能の漢字（淫を11字）については、正字とは別に機器表示の字体を「許容字体」として挙げました。これは「常用漢字表」改定時の答申の趣旨に添ったものです。

各位のご理解とご協力をお願いします。

表記の基準（主なもの）

○は本誌で表記する漢字の例

×は本誌で用いない漢字

※は本誌で許容する字体

一、常用漢字表にあるもの（固有名詞を除く）

(一) 従来の常用漢字（一九四〇字）から

表に記載の漢字とし、旧字は用いない。

○栄・桜・缶・螢・惨・滴・鎮・灯・仏・竜

×榮・櫻・罐・螢・慘・瀝・鎮・燈・佛・龍

(二) 新常用漢字（一九六字）から

表に記載の漢字とし、略字・旧字は用いない。

○葛・曾・瘦・填・麵・弥

×葛・曾・瘦・填・麵・彌

二点しんにゆう・食へんの漢字

○遡・遜・謎、餌・餅

※遡・遜・謎、餌・餅（許容字体）

○淫・僮・煎・嘲・抄・溺・賭・剥・箸・蔽・頰

※淫・僮・煎・嘲・抄・溺・賭・剥・箸・蔽・頰

(許容字体・11字)

二、常用漢字以外のもの（固有名詞を除く）

(一) 次の漢字はこの「慣用字体」で表記し、本字は用いない。

○唾・攪・麴・鮫・嚙・繡・醬・搔・屏・爐・楨

襖・嘘・遙・芦または蘆・袴または袴・帆または帆

×唾・攪・麴・鮫・嚙・繡・醬・搔・屏・爐・楨

襖・嘘・遙

(二) 他の漢字は正字表記し、略字は用いない。

○溢・淵・鷗・檜・摑・軀・壺・薩・滲・酋・蟬

噌・斂・噲・樽・鱒・驛・憚・筆・踴・濤・楮

櫟・輻または両

×溢・淵・鷗・檜・摑・軀・壺・薩・滲・酋・蟬

噌・斂・噲・樽・鱒・驛・憚・筆・踴・濤・楮

櫟・輻など

(三) 常用漢字以外の漢字の次の三部首は「二点しんにゆう・食へん・示へん」となる。

○這・逢・遁・辻・迂・迄・辿・迦・逗・漣・逼

○飴・餉・蝕・饅・餽・餽・餞

○祇・祠・榭

×這・逢・遁、飴・餉・餞、祇・榭

(注)「二点しんにゆう・食へん・ネへん」は、常用漢字以外の漢字には現れない。

(注) パソコン・電子辞書の一部には、新常用漢字にまだ対応していない機種がある

るので、注意が必要。

(本項執筆 〈27・10・10〉窪田司郎)